



200万分の1地質図の新刊

# 日本活断層図

## ACTIVE FAULTS IN JAPAN (Main Islands)

地質編集図18

編集 垣見俊弘・衣笠善博  
加藤 碩一(環境地質部)

発行 工業技術院地質調査所

取扱先 地学文献センター (0423) 62-5050

・内陸における地震の予知と防災に関する基礎資料として 活断層についての資料は欠かせないものであり 活断層に対する関心も最近とみに高まっているようである。

・本図は 島しょ部を除く日本全域についての活断層の分布を示したものであり 小縮尺ではあるが日本の活断層の発達状況の大勢を知って戴くには便利な図である。

・この図には 新第三紀及び第四紀の地層分布を主とする地質図をベースとして 活断層 活火山 カルデラ及び基盤に発達する主要な構造線が示されている。活断層は 地震断層(青線) それ以外の活断層(赤線) 推定活断層(赤破線) に3区分されている。なお 本図における活断層は 第四紀に活動した断層であることを作業上の定義としているが

その活動が第四紀の前期までに終息したと見られるものは本図には示していない。

・この図の活断層は すべて公表された論文や報告書によりその内容を検討しながら 一定の規準によって採録したものである。たとえば 赤実線で示された活断層は 原則として ① 活断層を主題とした論文や報告書の中でその位置と変位の向きがきちんと示されているもの および ② 2種類以上の地質図・活断層分布図・論文などでいずれも活断層としているもの に限って採録している。したがって 研究対象地域が偏っていることから 活断層の分布には地域により多少精粗の差があることをお断りしておきたい。以上のほか 縮尺が小さいことから 長さの短い(5km以下の)断層や 密に発達しているものの一部が示せないなどの制約もあるが 詳しくは本図に同封の説明を参照されたい。

・ともあれ 本図によって現在知られている活断層の分布や地質構造との関係について把握して戴き 地震予知・防災はもとより 地質構造研究の基礎資料としても役立てて戴くことを編集者は望んでいる。

地質ニュース	第293号	1月号
	定価	¥450
昭和54年1月1日	発行	工業技術院 地質調査所
編集	発行人	林久雄
発行所	発行所	株式会社 実業公報社
	総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部
	印刷所	共同印刷株式会社